

NASVAプレスリリース

令和2年5月18日

独立行政法人 自動車事故対策機構
被害者援護部 今田、大橋
電話 03(5608)7636

一貫症例研究型委託病床の受託先病院を公募します

今般、独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA）では、自動車事故による脳損傷によって重度の意識障害を負った方（遷延性意識障害者^{※1}）に対して、急性期～亜急性期～慢性期において連続した治療を行い、臨床研究を行うことにより、治療・看護・リハビリテーションの検討・改善に係る調査・研究を行うとともに、脳神経外科医等の医療スタッフの人材育成支援を目的とする「一貫症例研究型委託病床」（5床）を受託する病院を公募いたします。

この「一貫症例研究型委託病床」は、平成30年1月から藤田医科大学病院（愛知県）に5床設置し研究を開始しており、これまで9名の遷延性意識障害者が入院し、4名の方が脱却^{※2}し退院するなどの治療効果をあげていることを踏まえ、同委託病床を拡充し、臨床研究を更に推し進めたいと考えております。

※1「遷延性意識障害者」とは、脳損傷により自力移動・摂食が不可能であるなどの最重度の後遺障害者のこと

※2「脱却」とは、一定の意思疎通及び運動機能の改善がなされた状態のこと。

入札公告に関しては以下のホームページに掲載しております。

<http://www.nasva.go.jp/choutatu/nyusatu.html>

【入札関係書類の交付場所】

独立行政法人自動車事故対策機構 本部

東京都墨田区錦糸3-2-1 アルカイースト19階

※交付可能日時等は、入札公告をご覧ください。

参考資料

【NASVA療護施設一覧】



【療護施設の治療・看護の特色】



プライマリー・ナーシング方式

同じ看護師が一人の患者を主担当として継続して受け持つことにより、きめ細やかな看護体制を整備。



高度先進医療機器

治療効果の判定や効果的な治療・看護方法等の策定が可能。



ワンフロア病棟システム

病室の仕切りを最小限とすることで、患者のわずかな意識の回復の兆しを捉えられ、効果的な治療と看護が可能。